

Q 13 順番や学習のルールを守ることができません

【考えられる背景】

- ルールそのものの理解ができていない
- ルールに無関心である
- 興味関心のあるものに夢中になってしまい、ルールが守れない

【支援への手がかり】

☆ 順番やルールを視覚的に提示する

活動や遊びの中での順番やルールを守ることが難しい原因のひとつに、ルールが視覚的に提示されていることが少なく、目に見えないものであることが考えられます。

そこで、視覚的に理解できる指示の出し方を工夫します。例えば、頻繁に必要とすることは絵カードとして作っておき、それ以外のことは板書するなどします。また、運動場での遊びの場面で並ぶ位置を決めておく等の配慮も有効な場合もあります。

☆ 待つ時間が退屈にならない工夫をする

ADHDの子どもたちはじっとがまんすることが苦手です。自分がしたいことはすぐ行動に移してしまいがちで、衝動性が高いことが特性の一つです。したがって「待つ」という時間を退屈でないようにする工夫が必要となります。

こうした時は発想の転換をしましょう。自分の順番が来るまで、一定の範囲を決めて動いていい、という約束をすることも一つの方法です。そして、あと何人になったら戻ってくるということを決めておいて、少しずつ待つ人数を増やしていきます。そして、がまんして待つことができた場合は大いにほめたり、待つ時間が少しでも長くなるよう、言葉かけをしたりして、励ましてあげましょう。

☆ より良い行動を指導する

学習のルールが守れなくて全体の流れを中断するような場面では、近くに行き、「〇〇をしたかったんだね。」と気持ちを受け止め、「でも今は〇〇をしているから、あとで〇〇をしようね。」と静かに諭します。

また、順番が待てなくて行動が乱暴になったり、本人自身や周囲の子どもたちが危険な状況になるような行動が見られたときは、毅然とした態度で臨むことが大切です。そして気持ちが落ち着いてから、どのようにしたらよかったのかを一緒に考えていきます。



このように、状況や場面に応じて対応することが大切です。